

新	旧
<p style="text-align: center;">福島県補装具費支給に係る判定事務取扱要領</p> <p style="text-align: center;">福島県障がい者総合福祉センター</p> <p>1 ～ 6 (省略)</p> <p><u>7 検収</u></p> <p><u>センターの判定に基づき製作し、又は修理した補装具の検収は、補装具製作者（以下「業者」という。）が申請者に補装具を引渡す前に、当該補装具が判定のとおり製作されているか、次により確認する。</u></p> <p>(1) <u>検収を行う補装具</u></p> <p><u>センターが判定した義肢、装具、座位保持装置、車椅子、電動車椅子（レディメイドを含む）</u></p> <p>(2) <u>検収の方法</u></p> <p><u>原則としてセンター内で行うが、業者が相談会での検収を希望する場合は、相談会場での検収を認める。ただし、検収を希望する補装具が相談会判定を受けたものの場合、適合判定と同一日の検収は認めない。</u></p> <p><u>8 適合判定・確認</u></p> <p>製作し、又は修理した補装具の適合判定・確認は、次により行う。</p> <p>(1) センターの判定に基づき製作し、又は修理した補装具の適合判定</p> <p>ア 適合判定を行う補装具</p> <p>義肢、装具、座位保持装置、車椅子、電動車椅子 <u>（レディメイドを含む）</u> 及び重度障害者用意思伝達装置</p> <p>イ 適合判定の方法</p> <p>(7) 相談会判定で製作し、又は修理した補装具は、<u>センターの検収後に、</u>来所又は巡回相談会において <u>医師が判定</u>を行う。</p> <p>(1) (省略)</p> <p>(2) (省略)</p> <p><u>9 特例補装具（指針第2の1の(2)に規定する補装具）</u></p>	<p style="text-align: center;">福島県補装具費支給に係る判定事務取扱要領</p> <p style="text-align: center;">福島県障がい者総合福祉センター</p> <p>1 ～ 6 (省略)</p> <p><u>(項目の追加)</u></p> <p><u>7 適合判定・確認</u></p> <p>製作し、又は修理した補装具の適合判定・確認は、次により行う。</p> <p>(1) センターの判定に基づき製作し、又は修理した補装具の適合判定</p> <p>ア 適合判定を行う補装具</p> <p>義肢、装具、座位保持装置、車椅子 <u>（レディメイドを除く）</u>、電動車椅子 <u>（改造が施されたもの、簡易型で本体の車椅子がオーダーメイドの場合等）</u> 及び重度障害者用意思伝達装置</p> <p>イ 適合判定の方法</p> <p>(7) 相談会判定で製作し、又は修理した補装具は、 _____ 来所又は巡回相談会において _____ 行う。</p> <p>(1) (省略)</p> <p>(2) (省略)</p> <p><u>8 特例補装具（指針第2の1の(2)に規定する補装具）</u></p>

福島県補装具費支給に係る判定事務取扱要領 新旧対照表

新	旧
<p>(1) ～ (2) (省略)</p> <p>(3) <u>検収及び</u>適合判定 <u>検収は7に、</u>適合判定は<u>8</u>に準じて行う。</p> <p><u>10</u> 判定依頼の取下げ (省略)</p> <p><u>11</u> 借受け費の判定等 借受け費の判定等については、指針に定めるもののほか、要領4、5、6及び<u>10</u>を準用し、以下により行う。 (省略)</p> <p>附則 この要領は、平成18年10月1日から施行する。 (省略)</p> <p><u>附則</u> <u>この要領は、令和6年1月1日から施行する。</u></p>	<p>(1) ～ (2) (省略)</p> <p>(3) 適合判定 適合判定は、<u>7</u>に準じて行う。</p> <p><u>9</u> 判定依頼の取下げ (省略)</p> <p><u>10</u> 借受け費の判定等 借受け費の判定等については、指針に定めるもののほか、要領4、5、6及び<u>9</u>を準用し、以下により行う。 (省略)</p> <p>附則 この要領は、平成18年10月1日から施行する (省略)</p> <hr/> <hr/>